

祝 辞

卒業生の皆さん、御卒業おめでとうございます。今日は卒業生みんなが制服姿で、ここから見える皆さんの姿は本当に素敵でかっこいいです。

また、保護者の皆様、本日はお子様の御卒業、本当におめでとうございます。

さて、卒業生の皆さん、皆さんも知っているとおおり、この学校にはいろんな行事があったかと思えます。その中でも『芸術を楽しむ日』のことを覚えていますか？演奏家の方が来られ、いくつかの曲を披露してくださった中に、『島人の宝』という曲がありました。この曲には、「ふるさとは大切なものがあり、ふるさとを離れる日が来ても忘れてはいけない」という意味が込められていると思うのですが、私はこの曲が、まるで皆さんとこの学校、そしてこの学校の先生方のような曲に聴こえました。

ふるさとは、いろんな日々を過ごしてきた場所、お互いに大切と思える人達がいる場所のことだと思います。

皆さんもこの学校で楽しかった日や嬉しかった日、反対にちよつとしょんぼりした日や、「なぜ?」「どうして?」と悔しい思いをした日等、いろんな日々があったのではないのでしょうか。

また、そんな日々を一緒に過ごしてくれたのは、友達や先生方だったのではないでしょうか。

この学校で過ごした日々、そして、一緒に過ごしてくれた人達のことを忘れず、これから新しい場所に飛び込んで行く力にしてください。

改めまして、保護者の皆様、お子様の御卒業本当におめでとunggozaimasu。今日のお子様の姿はいかがですか？実は、私は自分の動作の確認として、一昨日のリハーサルに同席させていただきました。

まっすぐと前を向いて入場する姿、堂々と証書を受け取る姿、中には過敏さがあるなか頑張っている姿、イベントの度にこうして何度も練習をして、保護者の皆様に披露してくれたんだと思うと、子ども達一人一人がとても尊い存在に思えました。この卒業式、お子様が退場して見えなくなる瞬間まで、お子様の姿をどうかしっかりと見てあげてください。そして、校長先生をはじめ、たくさんの先生方、職員の方々、特性が違えば、対応も様々な子ども達と毎日向き合い寄り添っていただき、本当にありがとうございます。

また、御来賓の方々、本日卒業を迎えた子ども達のために、お忙しい中お越しいただきありがとうございます。ありがとうございました。

最後になりますが、卒業生の皆さんがこれから進む先々で、大切な場所や大切な人達と一つでも多く出会えることを心から願い、お祝いの挨拶とさせていただきます。

本日は、本当におめでとうございます。

令和八年 三月六日

京都府立宇治支援学校 PTA会長 師橋 恵

令和七年度 京都府立宇治支援学校

高等部 卒業証書授与式